

ジンコソーラーはB20サミット連合主席に任命され

太陽光発電（PV）産業の世界大手ジンコソーラーは20日、2017年ドイツG20ビジネスサミット（B20）“エネルギー、気候と資源効率”作業グループで連合主席に任命されたと発表した。これは今年中国杭州に続いて2回目の参加となった、そして、初めてB20作業グループのリーダー地位を取った。

紹介によると、連合主席は主に20カメンバー国から業界で最優秀な企業を選び、そしてB20議長と作業グループに対して特殊な貢献があると思われるから任命された。主な仕事がタスクフォースメンバーをリードし、政府のトップ、グローバルの企業界と広大な大衆に提唱する。同時に、政策ファイルを作り、関係業界の発展戦略を提出する。

「2017年ドイツG20ビジネスサミット（B20）“エネルギー、気候と資源効率”作業グループで連合主席を務めるのは大変光栄です。今年杭州でのB20サミットの成果を踏まえ、グローバルのビジネス業界のリーダーと提携して、エネルギー転換の進路、グローバルの気候問題、持続可能な経済成長など世界の共通課題を検討します。中国乃至世界範囲での太陽光発電が激増しています。ジンコソーラーは先進な技術や豊富なプロジェクト経験により、太陽光発電の持続可能な発展を推進し、グローバルの経済およびエネルギー革新を助力します。」とジンコソーラー副社長銭晶がコメントした。

Welcome to the B20 Germany Taskforce Energy, Climate & Resource Efficiency



Chair

Dr. Kurt Bock (BASF)

Co-Chairs

Dr. Elmar Degenhart (Continental), Dr. Wolfgang Büchele (THE LINDE GROUP), Dr. Peder Holk Nielsen (novozymes), Xabier Etxebarria (Gamesa), Francesco Starace (enel), Dany Qian (JinKOsolar)